

ユータス人形の手引き



●必要な材料

・型紙

(A3 で印刷すると身長 7cm くらい、A4 で印刷すると身長 5cm くらいのユータスになります)

・フェルト(黒色)

・フェルト(白色)

・フェルト(茶色)

・フェルト(黄色)

・人形用の綿

・ボンド(木工用のもので可)

・手芸用はさみ(手芸用はフェルトの「切れ」が違います)

・針と糸

●必要な技術

・波縫い

・玉止め

・根気

・臨機応変さ(型紙は参考程度に、実際は現物合わせで適宜調整してください)

①型紙から各パーツを切り抜きます。



②本体を作製します。胴体のパーツに、とさか(?)のパーツを挟み込んで、一緒に縫い上げます。



③下記の赤い点線部分を縫い上げます。綿を詰めるために、下の部分は開けておきます。



縫いあがりはこの感じ。



④表裏をひっくりかえして、綿を詰めます。

下図はひっくりかえしたところ。とさかを本体と一緒に縫い上げたので、くっついてます。

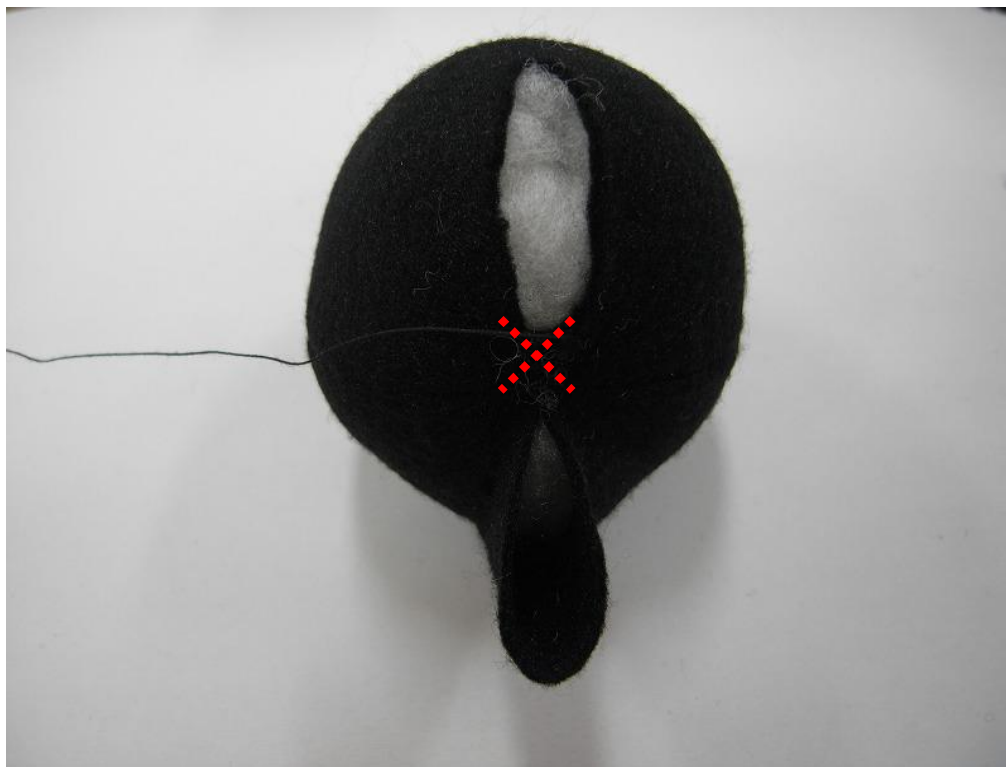


綿を詰めます。「これでもか！」というくらいぎゅうぎゅうに詰めるのがコツです。



⑤綿を詰めた開口部を閉じます。

まずは真ん中のぶぶんをばってんととめます。



はみだしたフェルトを、まずは片方はさみでカットします。



カットした部分をかがるような感じで縫い上げます。玉止めは胴体の真下部分にします。



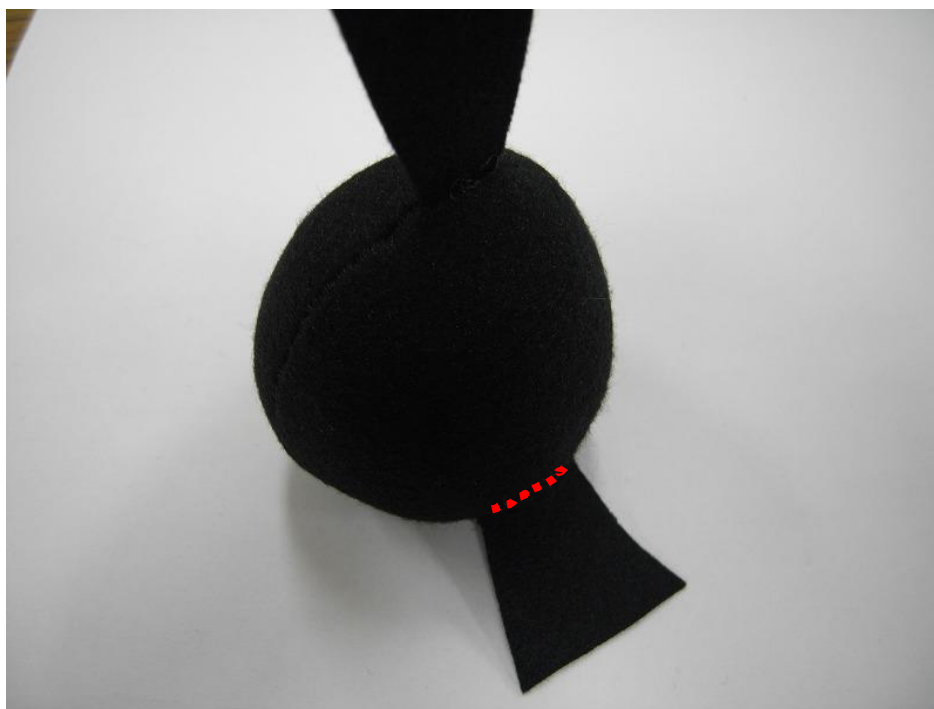
真下から見ると、こんな感じ。



もう片方の飛び出したフェルト部分も、同様に仕上げます。ユータスの胴体(おにぎりと呼ぶ)の完成です。



⑥しっぽのパーツを、かがるような感じでおにぎりに縫いつけます。
玉止めはおにぎり下側の中央部分にして、目立たないように仕上げます。



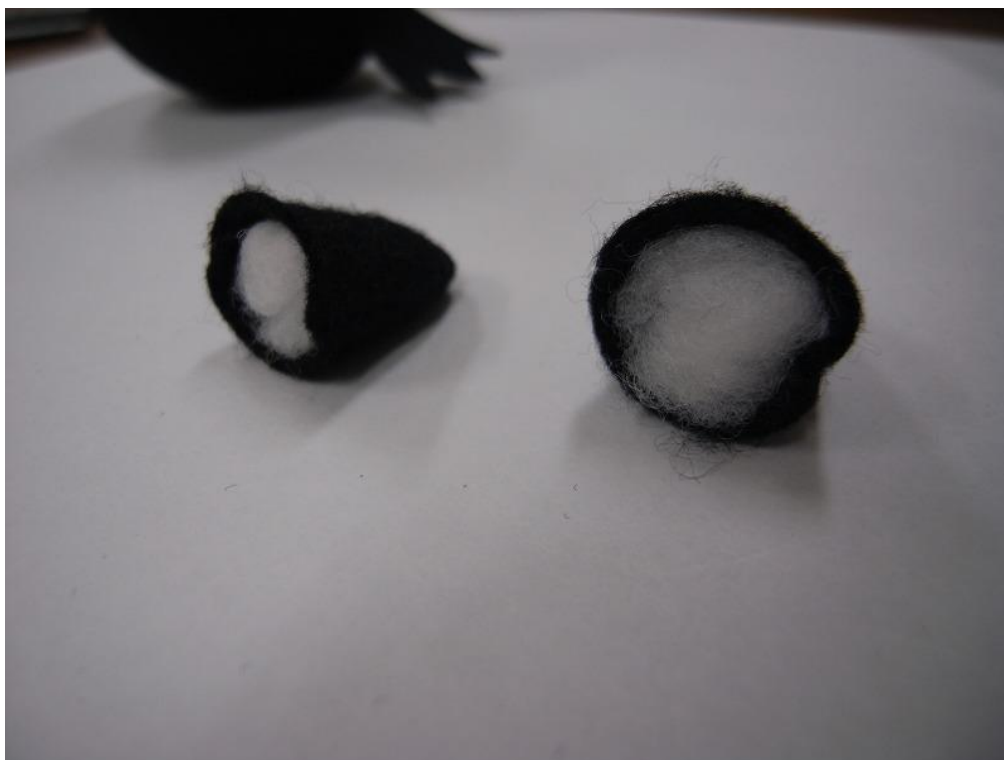
しっぽがついたら、とさかとしっぽのギザギザをはさみで入れてあげましょう。

⑦手のパーツを作ります。

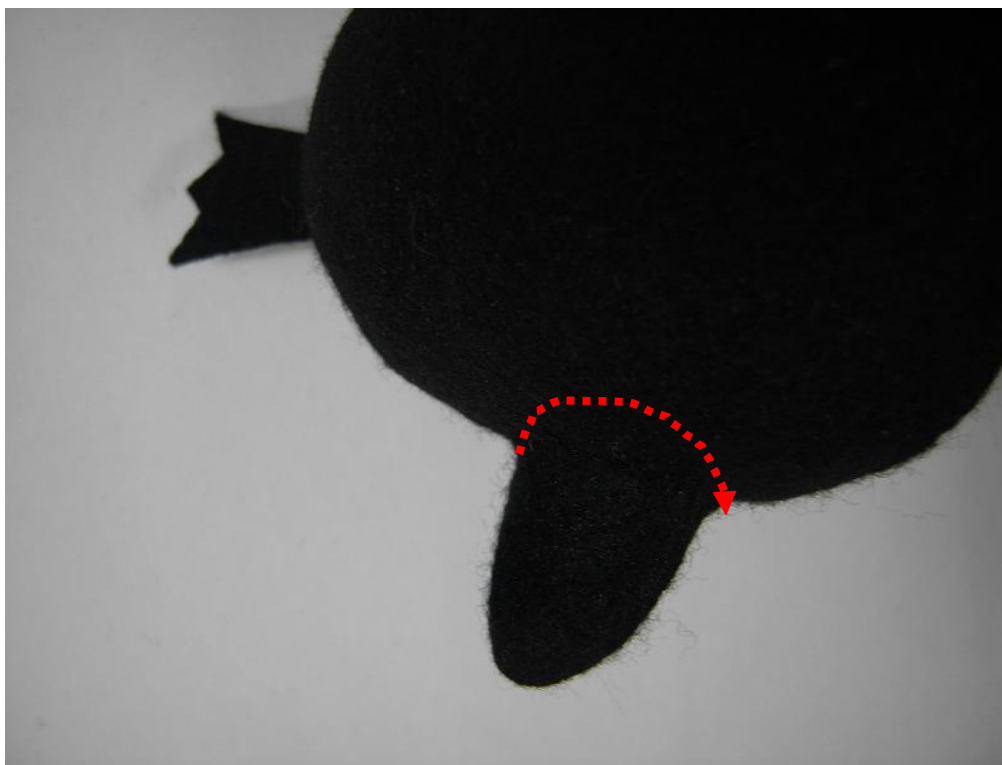
左右とも、袋状に縫い上げます。



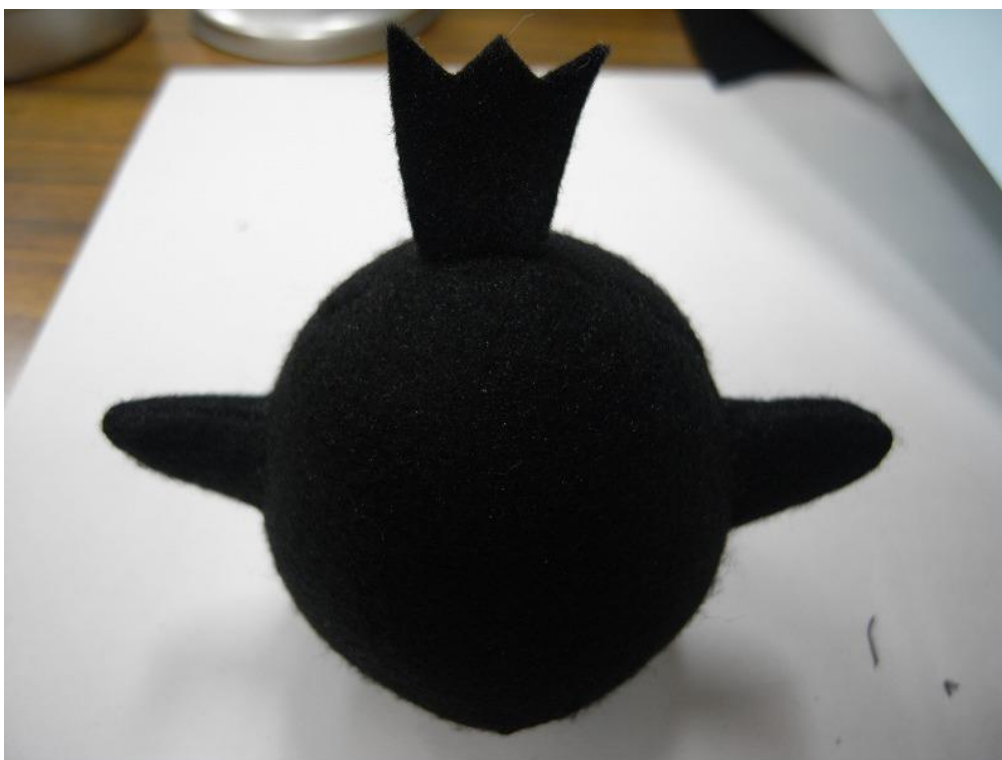
表裏をひっくり返して、中に綿を詰めます。



- ⑧完成した手のパーツを、おにぎりにかがるような感じで縫いつけます。
玉止めはわきの下部分にして、目立たないように仕上げます。



反対の手も同様に仕上げると、おにぎりに両手がつきました。上の方から見下ろすとこんな感じ。



⑨ 足をつけます。

まずは左右ともに一枚目のパーツをボンドで仮にくっつけ、乾いたらばってんに縫いつけます。
その上に二枚目をボンドで貼りつけます。これで足パーツは二枚重ねとなり、縫い目は外から見えなくなります。



⑩ 目とくちばしのパーツを作ります。

表情を決める大事な部分なので、慎重につくりましょう。くちばしは厚みを持たせるため、二枚重ねにします。目とくちばしは少し重なるかんじで、あらかじめボンドでくっつけておきます。



ひっくり返して、ボンドでめだまをつけます。

(写真は、市販されている丸型カット済みのフェルトを利用しています)



⑪おにぎりに目・くちばし・Uの字マークをつけます。

⑩で作った目・くちばしパーツをボンドでおにぎりにつけます。表情を決める大事な部分なので、慎重につけましょう。Uの字マークはカットして、同様にボンドでおにぎりにつけます。



⑫はさみで切れ込みを入れて、足の指をつくります。



⑬完成です。

